

# IBC2019 REPORT ②

欧州最大規模の放送機器展である「IBC 2019」が9月13日～17日の5日間、オランダ・アムステルダムでのRAI コンベンション・センターで開催された。本号では前号に続き、出展者概要を掲載する。

Photo.: Jun Yamazaki

## ARRI

ALEXA LF、ALEXA Mini LF、ARRI Signature Prime レンズ、SRH-3、DRW-1、およびTRINITYなどのカメラスタビライザーシステム、SkyPanel LED ソフトライト、L シリーズLED フィクスチャほか、照明制御アプリなどを展示。



## 富士フィルム

4K・8K 対応の放送用レンズやラージフォーマットセンサー対応のシネマカメラ用レンズなど、最先端光学技術を駆使した製品を紹介した。



## 昭特製作所

SHOTOKU がリモコンコントロールシステムTR-XT に付加された拡張機能を公開。ロボットペダスタルに追加されたナビゲーション機能でスタジオ無人化を提案した。

また、高品質で使いやすく頑丈で信頼性の高いロボットシステム及びマニュアルカメラサポートシステムの展示も行なった。

主力製品であるTR-XT コントロールシステムには、安全対策を強化し、撮影のしやすさを向上させる新機能が搭載され、ナビゲーション機能を強化したロボットペダスタル「SmartPed」を発表。また、レールシステム「SmartRail」や、パン・チルト雲台「TG-18i」をリリースしている。

マニュアル製品では、欧州市場に新製品のENG/EFP カメラ用三脚システム「SX200/260」を発表した。

●TR-XT に高度な制御オプションを追加：リモコンコントロールシステムTR-XT は、番組制作を最適化するワンマンマルチカメラ制御システムです。スタジオレイアウトに合わせたロボットペダスタルの複雑な可動域マッピングファイルを作成・管理、タッチパネルのプレビュー映像を触ることで雲台を動作させる機能を追加するなど、高度な機能を披露した。

●「SmartRail」が創造性と制御性を高める SmartRail は、フロアはもちろん天井に設置することができ、あらゆる用途に合わせて様々な高さの昇降コラム付きトラッキングレールシステムです。天井に取り付けるシステムは、カメラをキャスト目線の高さまで下降も可能。

高い位置の撮影のために上昇させ、レール台車駆動に加えて、広い昇降範囲を実現している。SHOTOKU のコントロールシステム一つで、統合された一体感のある動作が可能となる。

SmartRail は、すべてのSHOTOKU ロボットシステムと同様に、VR/AR トラッキングデータ出力を搭載している。

●リモコンヘッド「TG-18i」：従来のTG-18 雲台は、制御ボックス（CMC）と、AC 電源やネットワークを管理ボックス（PDU）が外部に必要であったが、それらを雲台本体と一体化したTG-18i を発表。これによりAC 電源とネットワークを直接雲台に接続でき、よりスマートなシステム構築ができるようになった。

●新製品「SX200/SX260」ENG 用三脚システム：SX200/SX260 は、無段階の完全バランスシステム「Truebalance」と、無段階の粘性抵抗式ドラッグシステム「Viscam」

を採用しているENG/EFP カメラサポートシステムである。「Truebalance」には調整位置が直感的にわかるインジケータが搭載されているため素早い設定が可能で、マグネシウム合金を用いた軽量で強靱なボディとカーボンファイバー三脚の組み合わせによりこの搭載荷重と性



能レベルでは、市場で最も軽量の製品となっている。SX200 の最大搭載質量は20kg、SX260 の最大搭載質量は25 kg。

**NEW** Shotoku's Camera Support Solution  
**SX200**  
ENG用三脚システム

マグネシウム合金フレームで  
軽量・強靱を実現

- 無段階完全バランス
- 無段階粘性抵抗式ドラッグ

**SHOTOKU**  
BROADCAST SYSTEMS

株式会社 昭特製作所  
044-812-0931  
www.shotoku.tv

## Cartoni

イタリアの三脚メーカーである Cartoni は、IBC 2019 に先立ち、2つの三脚と2つの三脚ヘッドを発表した。

わずか 3 kg の軽量な三脚ながら、最大 60kg のカメラシステムをマウントでき、携帯性に優れている。

また、今回発表の軽量三脚のセットには、RED LOCK と呼ばれる軽量のセットも登場した。

### ■ RED LOCK 三脚

Cartoni の三脚シリーズに新しく追加されたのは、RED LOCK と呼ばれる軽量のセット。この三脚は2 段式で、重量はわずか3kg。しかし、最大 60kg の重量級カメラシステムにも対応する。インディーズ映画カメラマンやワンマン撮影に最適な製品である。

完全に折りたたんだときの長さは77cm。2つの赤いレバーを引くと、最大高は153cmまで延長できる。低くする必要がある場合は、スマートスプレッダーで足をすばやく広げて、50cm まで低くすることができる。三脚の脚にはスパイクが付けられており、しっかり地面に固定される。また、新しく設計されたゴム製の脚も付属している。

価格は、「驚くほど手ごろな価格」とのことで、注目度の高い三脚。今年の終わりまでに出荷される予定となっている。

### ■ MAXIMA 5.0

新製品の中には、有名なMAXIMA 三脚ヘッドの 5.0 バージョンもある。これらの MAXIMA Flat Mitchell/150mm ボウルベース 三脚ヘッドは、主に長編映画やハイエンドプロジェクトで使用されている。MAXIMA 5.0 は、Cartoni の特許取得済みカウンターバランスを備えており、50kg までの耐荷重となっている。MAXIMA の三脚ヘッドの従来品と比べて優れた点は、すべてのコントロールがオペレーター側にあること。かつロック/ ノブは静かに動作する。三脚ヘッドの上部にある長く大きなスライド式カメラプレートは、ARRI、ソニー、およびO'Connor のものと互換性がある。ヘッドには伸縮式パンバーと短いフロントパンバーが付属する。

価格はまだ発表されていないが、これらの MAXIMA 三脚ヘッドは、1 万ドルクラスのもので、通常はレンタルハウスを対象としている。MAXIMA 5.0 は年末には発売予定である。



### ■ Master 25 と S200

さらに手頃な価格の三脚ヘッド Master 25 も発表された。この軽量三脚ヘッドは、最大30kg のカメラシステムをサポートする。ブラックとゴールドのデザインと灰色の陽極酸化アルミニウム仕上げ。

最後に、スポーツやイベント撮影向け Sport 200 三脚がある。これはアルミニウム製で、脚は角張っていて、標準的なパイプ製と比較してより頑丈に作られている。S200 の重量は 10.5 kg で、最大200kg の耐荷重のため、ほぼすべてのカメラに対応する。古典的なミッチェルフラットベース三脚ヘッドをマウントできる

これらの製品の価格はまだ発表されていないが、年内に出荷される予定。

## Neveion

今年のテーマは昨年に引き続き人にフォーカスを当てたテーマになっており「all about people!」は、IP メディアトランスポート全般にかかわる人々をThe Pioneers (Vision)、The Guides (Solutions)、The Creators (Products)、The Experts (Services) など



と技術的な問題や人的リソースに関する問題を解決するソリューション全般

に関してユーザーの力になれるパートナーを目指していた。まさしく毎年掲げているサブテーマである「Meet The Architects」を継承している。

展示内容では、ホール13-A10の SONY ブースとアムステルダム市街 Hilversum (ヒルフェルスム) 市からの IP ライブ回線を接続し新開発である極低遅延HD 伝送エンコーダ方式 JPEG XS によるWAN 伝送とブース間では 4K UHD、HD-SDI 非圧縮伝送のデモを行った。(写真右上)

また今年 SMPTE 技術フェローに就任した Neveion Chief Technologist の Andy Rayner



氏による IP Showcase (Room E106/ 107) と IABM Future Trends Theatre (Booth 8. F40) では JPEG XS、5G ネットワークと放送、WAN 環境におけるST2110 についてそれぞれ講演を行った。

## neveion Media Gateway to IP

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオの IP 化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。



### Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI 非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...

製造元：  
Neveion AS



非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IP コーデック + eMerge 10GBE スイッチ・40 GBE データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントバス構成

輸入販売元：  
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp

### Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI  
AES 67 IP オーディオ





## アストロデザイン

AI スケーラー (ASTRO Intelligence Scaler) Open FX Plugin 「SP-2030」、8K ビデオプロダクションワークフローなどを紹介。

また製品では HDMI 2.1 に対応するプロトコル・アナライザ 「VA-1847」、シグナルジェネレーター 「VG-879」、コンバーターボックス 「SD-7075」などを展示した。

■ **デジタルビデオ信号発生器 「VG-879」** : HDMI 2.1、V-by-One HS、12G-SDI、Display Port 1.2a など最新規格に対応。8K/120p、4K/120p、FHD 240Hz など高速信号伝送をサポート。インターフェースはスロット形式を採用。ユニット構成の変更が可能。HDMI 2.1 コンプライアンステストツールを用意。Sink 機器のテストが可能。などの特徴をもつ。



デジタルビデオ信号発生器 「VG-879」

■ **HDMI 2.1 プロトコルアナライザ 「VA-1847」** : 8K/60p YCBCR 4:2:0 や 4K/120p YCBCR 4:4:4 のタイミングに対応しており、持ち運び可能な小型設計で液晶パネルとスピーカーを搭載し、入出力映像および音声をその場で簡単に確認できる製品。

レシーバーモードでは、CTA-861-G の Video Identification Code (VIC) にある FRL (最大 4Lane 12Gbps) 信号、および TMDS 信号の受信が可能 (5K/10K 非対応)。ビデオ/オーディオタイミング、InfoFrame 計測、および HDCP ステータス、SCDC レジスタの表示が可能。DDC/CEC ラインモニター機能を搭載、



プロトコルアナライザ 「VA-1847」

SCDC や HDCP 1.4/2.3 の解析、および CEC の解析が可能。DSC 1.2a でエンコードされた信号の受信、および解析が可能。

リピーターモードでは、本機をリピーターとして設定でき、HDMI 出力装置の HDMI プロトコル解析が可能。

ジェネレートモードでは CTA-861-G の VIC

AI スケーラー紹介コーナーにある FRL (最大 4Lane 12Gbps) 信号、および TMDS 信号の出力に対応 (5K/10K 非対応)。HDCP 1.4/2.3 の ON/OFF が可能。コンプライアンステストでは、HDMI 2.1 CTS のプリテストが可能。その他数々の特徴をもつ。

■ **HDMI コンバーターボックス 「SD-7075」** : HDMI 2.0×4 の 8K 映像を HDMI 2.1 に変換。HDMI 2.1 対応の 8K テレビと接続し 8K 映像モニタリング環境構築をサポートする。



コンバーターボックス 「SD-7075」

## JVC

ブースでは、“高画質、高品質でつながる”をコンセプトとした“CONNECTED CAM<sup>TM</sup>”の進化と拡大をテーマに、スタジオ制作向けの最新ラインアップ“CONNECTED CAM STUDIO”を加えた最新の各種 IP 映像制作ソリューションを提案。また、Facebook Live のライブストリーミング配信に対応した「GY-HM250」のバージョンアップや 4K 映像制作用モニターの新ラインアップも展示した。

主な展示内容 :

1. “CONNECTED CAM<sup>TM</sup>”を核とした IP 映像制作向けソリューションのラインアップを強化。取材やスポーツ、イベントなどのライブ中継を小規模かつ省コストで実現する、“CONNECTED CAM<sup>TM</sup>”を核とした撮影・伝送・配信ソリューションや放送局などのスタジオ制作向けシステムを展示した。さらに進化、拡大する当社のエンドツーエンドの IP

映像制作ソリューションを提案。

インターネット環境でのライブ制作をオールインワンで提供するライブプロダクションスイート。圧縮効率の高いライブ配信を提供する H.265/HEVC ストリーミングアダプター。IP 化により距離の制限をなくしリモートプロダクションにも運用できるリモートコントロールパネル。GY-HC900 の放送スタジオ制作向けビューファインダー。映像制作の幅を広げる IP 機能の追加・拡張などの特徴をもつ。

2. 簡単な設定で Facebook Live へのライブストリーミングを実現 (「GY-HM250」バージョンアップ) : 企業や学校などで Facebook Live を使ったコンテンツ配信が盛んになる中、簡単に Facebook Live へのライブストリーミングを実現する 4K メモリーカードカメラレコーダー 「GY-



HM250」のバージョンアップを提案。カメラと Facebook アカウントをペアリングするだけで、複雑なネットワーク設定をすることなく Facebook へのストリーミング配信をワンタッチで開始できる。また、Facebook で使われるセキュアなストリーミングプロトコル RTMP(S) に対応しており、信頼性の高いコンテンツ配信が可能である。

< 「GY-HM250」>

3. 4K 映像制作用モニターの新ラインアップを提案 《NEW》

4K 映像制作用モニターの新ラインアップとして、「DT-U シリーズ」の 3 モデルを展示。いずれも、14 ビットカラー処理が可能な 10 ビットパネルを搭載。HD-SDI 入力は 12G 1 入力と 3G 4 入力の両方をサポートし、HDMI による 4K 入力にも対応している。「DT-U27HB」および「DT-U31」は UHD (3840x2160) 解像度、「DT-U31PRO」は DCI 4K (4096x2160) のネイティブ解像度をサポートする。



CONNECTED CAM 「GY-HC900」



「GY-HC900」

# Vitec Group

Vitec Group は同グループ内の各ブランド毎にブースを構え、三脚・照明器具・バッテリーなどを出展。主なブランドとしては Vinten/Sachtler、Litepanels、AutoScript、AntonBauer、Teradek などのほか、Oconnor、Manfrotto、Joby などのブランド製品を紹介した。

<https://www.vitecvideocom.jp/brands/>

## ■ Vinten / Sachtler

昨年に引き続き「Flowtech シリーズ」を展示。Flowtech は、革新的な高速セッティング機構、および厳しい使用環境を想定した耐久性を備える、まったく新しいカーボンファイバー製三脚システム。撮影現場におけるワークフローの大幅な改善と、撮影の自由度の向上を可能とする数々の新開発テクノロジーが搭載されている。Vinten と Sachtler は元々別ブランドで、独自性を保ちながらそれぞれのブランドが得意とする製品を開発してきており、そのコンビネーションにより、最大のパフォーマンスを発揮する。

昨今のカメラの小型軽量化を見越して、Vinten と Sachtler が共通ブランドでカーボ

ンファイバー製の三脚 Flowtech を発表したものであり、本展においてはケーブルガードが標準装備されている Flowtech 100 スタジオ用ドリーが新製品として加わった。

## ■ Litepanels

映像撮影の現場を知り尽くしていた 5 人の照明技師により設立された、アメリカのプロフェッショナル向け LED ライトブランド Litepanels。光源としての LED の将来性にいち早く着目し、2001 年の創業以来ハリウッドの厳しい評価に応えるライトの開発、提供を続けている。

Litepanels は高輝度・高CRIを誇るフラットパネル型 LED ライトを中心に、フレネルタイプのスタジオ向け大型ライトから乾電池駆動可能なモバイルライトキット、防塵・防滴・ヘビーデューティポータブルライトまで、バラエティに富んだ製品ラインナップを展開している。高い基本性能に加え、LED ライトの特長である低消費電力・低発熱・小型軽量を兼ね備えた Litepanels 製品群は、次世代の照明システムを代表する付加価値を備えた LED ライトである。



本展では「Gemini 1X1」と「Gemini 2X1」の 2 機種をラインナップしている Gemini ファミリーを主力に出展。LED 素子に R, G, B (赤緑青) とデイトライト白、タングステン白の 5 色を使用しており、色の再現性が高くなっている。専用ヨークを使用することで最大 4 台の灯体を連結することが出来る。

「Gemini 2X1」は、色温度の調整はもちろん、カラーコントロール、DMX と Bluetooth コントロールを備えたバイカラー LED ソフトライトで、完全なフリッカーフリー仕様の照明器具で、正確な昼光色とタングステン色の LED を搭載し、325 ワットのソフトライティングが可能で 2×1 の縦横比の照明器具である。

## ■ Autoscript

プロンプターシステムのマーケットリーダーとして全世界にソリューションを提供する、イギリスのブランド。プロンプターは、ニュース番組などで原稿の読み上げを行うアナウンサーが、視線をビデオカメラから外すことなく視聴者に向かっていられるようにするために使用される、ハーフミラーを内蔵した機器。

設置性と利便性を高める豊富なアクセサリや、軽量化と高輝度化が進んだプロンプターモニター、視認性を高めたプレビュー画像表示用モニターなどを組み合わせ、個々のニーズにマッチしたシステムを構築することができる。スタジオ環境とユーザーニーズを熟知した開発者がその思想を盛り込んだ Autoscript 製品は、専用システムに求められる機能・性能と、汎用システムが持つコストパフォーマンスの高さを兼ね備えている。



Vinten / Sachtler 共通ブランド製品 Flowtech



Autoscript プロンプター

## MOGAMI BNC-2964

もう回す必要はありません!  
BNCコネクタ付き同軸ケーブル

共に高品質な部品を提供し続けてきたモガミ電線と多治見無線電機の組み合わせで実現されたフィールドエンジニアの為の夢のケーブルです。

50Ω/75Ωの両タイプ共あります。

ワンタッチロック“PUSH-PULL”方式採用! 密集したパネルや設置時間の短縮、頻繁な抜き差しに格段の効果を発揮します。

軽い! やわらかい! ワンタッチ!

モガミ電線株式会社

お問い合わせ

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp



Click  
カチッ

